

表現運動：リズムダンス

3年「ダンスフェスティバル」

1. 学習のねらい

- (1)いろいろなリズムに乗って、全身を使って楽しく踊ることができるようになる。(技能)
- (2) リズムダンスに進んで取り組み、互いに認め合いながら練習や発表ができるようになる。(態度)
- (3) 自分で工夫したり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりすることができるようになる。(思考・判断)

2. 指導にあたって

(1) 領域から見た運動の特性

表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没頭してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

中学年の「リズムダンス」は、軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわって踊るのが楽しい運動で、いずれも自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習で進められるのが特徴である。

本単元の「ダンスフェスティバル」は、友達と一緒にリズムに乗って全身を使って体を動かす題材である。リズムの特徴をつかみ、いろいろな動きをかけ合わせていくので、心と体に一体感ができ、リズムに乗りにくい児童も安心して取り組むことができる。また、軽快なロックやサンバなどの曲に合わせて様々な動きを表現したり、曲に合わせて、グループで動きを考えて発表したりする教材である。ペアを組んだりたくさんの方達と関わったりすることで、ダンスの楽しさを知り、自分でダンスを考える力や踊り続ける力が付いていく運動である。

(2) 学習指導と評価の在り方

「はじめ」の段階では、いろいろな動きのイメージをもたせるために、曲調の異なる曲をかけ、全身を使って踊る。学習のねらいや方法を知り、学習の見通しをもたせる。いろいろな踊りを紹介し、一緒に踊る楽しさやみんなで踊る一体感を味わえるようにする。

「なか」の段階では、ねらいを2つに分ける。

前半の「ねらい①」では、指導者や友達と一緒に音楽に合わせて自由に踊る。まず、リズムに合わせて基本的な動きを指導者が行い、それを真似て踊るようにする。動きを真似ることで、音楽の特徴をとらえ、自然と体が動くようになる。また、自分で考えた動きを取り入れ、一人で踊ったり、ペアで踊ったりできるような場面をつくり、動きの広がりや友達と踊る楽しさを味わわせたい。友達のよい動きを見付け、真似てよいことも伝えるようにする。

後半の「ねらい②」では、グループになって、曲に合わせた踊りを踊る。その時、グループでアイディアを出し合いながら踊るようにする。自分たちで踊りを考えることを通して、グループでの一体感を高めたい。その学習の終わりには、グループごとにダンスを見せ合い、意見交換をするようにする。よい動きやもっとこうした方がよいなど意見を出し合い、互いを高め合うことができるようになる。

「まとめ」の段階では、今まで学習したことを生かして「ダンス発表会」を楽しむ。そ

それぞれのグループで考えたダンスを見せ合ったり、友達の感想を聞いたりすることで、成就感を味わわせる。

評価については、まず、指導者による児童の動きの観察をしっかりと行う。「リズムの特徴をとらえて踊ることができているか。」「連續した動きができているか。」「友達と楽しく踊ることができているか。」「友達のよい動きを見付けることができているか。」ペアやグループダンスを中心にしっかりと動きの観察をする。次に、児童自身が学習を振り返り、次時への意欲がもてるよう心情調査を行う。また、指導者が児童の学習の様子や思いを把握して次時への指導に役立てたり、児童の学習状況を知る際の参考資料にしたりする。最後に、児童同士による相互評価を行う。毎時間見せ合ったり、最後に発表会をしたりして、相互評価を行う。その他、よかった所やもっとこうしたほうがよいなどが書ける「ことばのプレゼント」を活用する。いろいろな友達に贈り、友達のよさを確認することで、互いを高め合えるための資料として活用する。

(3) リズムダンスの観点別評価規準

技能	態度	思考・判断
・表現やリズムダンスでは、身近な生活の中から題材を選んで、その主な特徴や感じをとらえて表現したり、軽快なリズムに乗って踊ったりして、みんなで踊りを楽しむことができる。	・運動に進んで楽しく取り組もうとしている。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり、見せ合いをしたりしようとしている。	・表したい内容にふさわしい動きやリズムに乗って踊るための活動の工夫をしている。また、よい動きを知り、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。

(4) 「ダンスフェスティバル」の観点別評価規準

技能	態度	思考・判断
・リズムに乗って全身を使って踊ることができる。 ・動きにアクセントや変化を付けたり、動きを組み合わせて続けて踊ることができる。	・運動に進んで取り組もうとしている。 ・友達と感じ合って楽しく踊ろうとしている。 ・友達のよい動きを見付け、協力して練習したり、発表で交流したりしようとしている。	・友達のよい動きを見付け、真似をしたり、自分の動きを工夫したりしている。 ・動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分に合った課題を見付けている。 ・友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。

3. 学習指導・評価計画

過程	はじめ	な か①	な か②	ま と め
時	1	2 3	4 5 (本時) 6	6
学習のねらいと活動	<p>学習のねらいや進め方を知り、単元全体の見通しをもつ。</p> <p>1. 学習のねらいや進め方を知り、見通しをもつ。 2. いろいろな曲に合わせて即興的に踊る。 3. 学習のまとめをする。</p>	<p>ダンスタイムを通して、自由に踊って楽しむ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ダンスタイム <ul style="list-style-type: none"> ・メドレーダンス 2. 学習めあてや学習の流れを説明する。 3. ミラーダンス 4. 円になって踊ろう。 5. グループダンスタイル <ul style="list-style-type: none"> ・一つの曲で、自分たちで踊りを考える。 6. 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった所や友達のよかつた所を発表する。 	<p>曲の特徴を生かし、グループのみんなで楽しく踊る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ダンスタイム <ul style="list-style-type: none"> ・メドレーダンス 2. 学習めあてや学習の流れを説明する。 3. ミラーダンス 4. グループダンス <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな踊りを組み合わせる。 ・空間をうまく使って踊る。 5. 見せ合いタイム <ul style="list-style-type: none"> ・動きを見せ合い、アドバイスし合う。 6. 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった所や友達のよかつた所を発表する。 	<p>今まで学習してきたことを生かして発表会を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. めあての確認、学習の進め方を知る。 2. 発表会を楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・今まで練習してきたことを発表する。 3. 友達のよかつた所を発表する。 4. 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習全体を振り返り、感じたことや気付いたことを発表する。
指導者の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなリズムに乗って踊ることを伝え、学習への意欲がもてるようになる。 ○ 踊るときに気を付けることを伝える。 ○ 友達の真似をしてよいことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恥ずかしさがやわらぐよう指導者が率先して動く。 ○ ダンスタイムでは、みんなで踊って、心と体をほぐす。 ○ 動きの広がりや、友達と踊る楽しさを味わえるようにする。 ○ 友達のよい所を見付けられるように助言する。 ○ 真似をしながら、踊り続けられるように簡単な動きを紹介する。 ○ グループで協力して、踊りを考え、アドバイスをしあいながら進めていくように助言する。 ○ 楽しかった所や友達のよかつた所を褒め、次時への意欲がもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の場の安全を確認しながら行う。 ○ どのようにして動いたらよいかわからない児童には、友達の真似したり、困ったときの踊り、(例えば、手をたたく、跳びはねる、ぐるっと回るなど) をしたりしてもよいことを伝える。 ○ グループダンスでは、友達のアドバイスを参考にしながら、互いを高め合えるように支援する。 ○ ICT機器を使い、自分たちの動きを確認させるようにする。 ○ 見せ合いタイムでは、児童の間で、いろいろなアドバイスができるように、予め見るポイント(リズムに乗っているか・全身を使っているか。積極的に踊っているか。など) を伝える。 ○ リズムに乗っていたグループを選び、みんなに紹介する。 ○ 自信や意欲がもてるようによい動きを褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までに学習したことを思い出して踊るように助言する。 ○ 友達のよい所を見付けることができるよう助言する。
具体的な評価規準の一例	【技能】	<p>リズムに乗って全身を使って踊ることができる。</p>	<p>動きを組み合わせて続けて踊ることができる。</p>	<p>今までに学習してきたことを生かして、リズムに乗って踊ったり、友達とかかわり合ったりして楽しく踊ることができる。</p>
	【態度】	<p>リズムダンスの内容を知ることで次時への意欲をもとうとしている。</p>	<p>グループで楽しく踊り、互いのよさを認め合ったり、声をかけ合ったりしようとしている。</p>	
	【思考・判断】	<p>友達のよい動きを見付け、真似したり、自分の動きを工夫したりしている。</p>	<p>友達のよい動きを見付け、自分やグループの踊りに取り入れている。</p>	

4. 本時の学習 (5 / 6)

(1) 目標

- リズムに乗って、全身を使って楽しく踊ることができるようする。 (技能)
- グループで楽しく踊り、互いのよさを認め合いながら練習や発表ができるようする。 (態度)
- 友達のよい動きを見付け、自分やグループの踊りに取り入れることができるようする。 (思考・判断)

(2) 展開

学習活動	指導者の働きかけ	評価
1. ダンスタイム ・メドレーダンス	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者が進んで踊り、児童の心と体をほぐすようする。 ○リズムに乗って動き、心と体をほぐす。 ○指導者の真似をして踊ったり、自分で自由に踊ったりしていろいろな動きができるように支援する。 ○指先まで意識して踊るように助言する。 	
2. 学習のめあてや学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてや学習の流れ、動く時に気を付けることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って踊る。 ・友達やグループのみんなと一緒に楽しく踊る。 ・友達のよい動きを見付け、アドバイスをする。 	
3. ミラーダンス	<ul style="list-style-type: none"> ○どのようにして動いてよいのかわからない児童には、友達の真似をしたり、困ったときの踊りをしたりしてもよいことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・例：手をたたく、跳びはねる、ぐるっと回るなど 	<p>○リズムに乗って、全身を使って楽しく踊ることができる。(技)</p>
4. グループダンス ・いろいろな踊りを組み合わせる。 ・空間をうまく使って踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に合わせて、自分たちで踊りを考えるようにする。アイディアが思いつかないグループには、動きの助言をする。 ○友達のアドバイスを参考にして踊るように助言し、互いを高め合えるように支援する。 ○始めと終わりを意識させ、静と動の区別を付けられるように助言する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> グループで楽しく踊り、互いのよさを認め合いながら練習や発表しようとしている。(態) </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 機器を使い、自分たちの動きを確認させる。 ○見せ合いタイムでは、児童同士で、いろいろなアドバイスができるよう に、予め見るポイント（リズムに乗 れているか。全身を使っているか。 積極的に踊っているか。など）を伝 える。 ○リズムに乗って踊ることができた グループを選び、みんなに紹介す る。 ○自信や意欲がもてるようによい動き を褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のよい動きを見付け、自分やグループ の踊りに取り入れて いる。（思）
<p>5．見せ合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで踊りを見 せ合う。 ・感想を伝え合う。 ・アドバイスを生かし てもう一度みんなで 踊る。 <p>6．学習のまとめをす る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった所や友達 のよかったですを発表 する。 		